

2 0 1 8 年 度

(平成30年度)

事業計画

学校法人 京都橘学園

## 2018 年度事業計画

京都橘学園は、長期ビジョン（2015～2022）および中期プラン（2015～2018）で構成する「第1次マスタープラン」の取り組みを進めており、2018年度は中期プランの最終年度を迎えます。

学園においては、新たに保育事業として滋賀県草津市に「たちばな大路こども園」を開園し、新しい時代にふさわしい先進的な総合学園をめざします。

大学においては、健康科学部に作業療法学科と臨床検査学科を開設し、国際から人文、教育、社会、医療系まで幅広い分野にわたる6学部13学科からなる存在感のある総合大学をめざします。

中学校・高等学校では、生徒数1,200人の規模拡大を実現し、文武両道の学校教育をめざします。

大学、中学校・高等学校とも第1次マスタープランに基づき以下のとおり事業計画を立てています。

### 1. 京都橘大学

#### (1) 教育活動の推進

- ・全学においては、在学中における学びが卒業後の職業生活にどのように活かされているかについて卒業後調査を計画し、新たな教育活動の評価指標を導入します。
- ・文学部においては、カリキュラム改革に取り組み、キャリアゼミ、多読プログラム、京都プログラム等、社会との接続を強化し、学生のキャリア形成をめざします。
- ・国際英語学部においては、開設2年目に伴うSAP（Study Abroad Program）を計画し、高度な英語運用能力とグローバルコミュニケーション能力を向上し、学生のキャリア形成をめざします。
- ・発達教育学部においては、教職・保育職支援について新たに1次合格率100%、最終合格率80%という高い目標を掲げ、全国トップレベルの教職・保育職養成をめざします。
- ・現代ビジネス学部においては、経営学科にIT時代に応じた情報ビジネスコースを設置します。また、経営学科、都市環境デザイン学科とも、課題解決型学習（PBL）を積極的に展開し、学生のキャリア形成をめざします。
- ・看護学部においては、今後の地域包括ケアシステムに向けて、地域での新たな臨地実習のフィールドを確保すると共に、地域連携を強化するために必要な事業を計画し、地域医療にも強い看護職養成をめざします。
- ・健康科学部においては、心理学科で公認心理師国家資格に対応した新しい教育課程を進めます。また、新たに作業療法学科と臨床検査学科を開設し、心理学科と医療系4学科の教育連携を進め、心身の健康課題に向きあえる医療職養成をめざします。
- ・大学院においては、高度マネジメント能力養成への社会的養成に定めるため、2018年度に文化政策学研究科を改組し、2019年4月より現代ビジネス研究科マネジメント専攻博士課程を開設します。

#### (2) 研究活動の推進

- ・私立大学等研究ブランディング事業（文部科学省）の採択を目指し、学長をトップに据えた大学研究ブランディング事業推進体制を強化し、研究活動の向上を図ります。
- ・学部学科の特色を生かした地域課題研究においては、京都市および滋賀県など、自治体との連携による研究活動を推進し、研究成果を地域に還元します。
- ・科学研究費等の外部資金獲得に積極的に取り組むと共に、研究倫理教育および研究不正防止教育にも積極的に取り組みます。

### (3) 学生支援活動の推進

- ・地域のボランティア活動等の課外活動を支援し、学生の主体性を育てます。
- ・強化サークルにおいては、サッカー部の2部Aリーグ昇格をめざし、サークル活動を支援します。女子バレーボール部および弓道部は、リーグ戦優勝および全国大会出場をめざし、サークル活動を支援します。吹奏楽部は、関西吹奏楽コンクール、オータムコンサート等、地域に根付いたサークル活動を支援します。
- ・学生への経済的支援においては、引き続き大学独自の奨学金の経済援助給付奨学金を充実させます。

### (4) 就職支援活動の推進

- ・単位認定型インターンシップは文部科学省の基準に則り、学生指導の充実を図ります。
- ・U・Iターン就職協定・連携県を増やし、地方企業に対して本学の存在周知をさらに拡大します。
- ・学科と事務局が連携して、国家試験合格率100%に向けた国家試験対策支援を強化します。
- ・医療系学科の公安系公務員への対策支援を強化すると共に、人文、社会科学系学科の公務員支援対策も強化します。

### (5) 地域連携の推進

- ・京都橘大学産学公地域連携推進機構を設置し、京都産業界との連携活動を強化します。
- ・山科醍醐地域を中核とした学まち連携大学促進事業を展開し、地域連携活動を強化します。
- ・公開講座事業を展開し、大学の教育研究成果を社会に発信します。
- ・京都の10大学で運用する「東京サテライトキャンパス」での京都の芸術文化の発信に取り組みます。

### (6) 学生募集および広報活動の推進

- ・広報活動においては、京都の私立総合大学としてのブランドイメージの確立をめざします。また、大学の日常ニュースも配信し、ステークホルダーに親しみの持てる大学づくりをめざします。
- ・学生募集活動においては、国際から人文、教育、社会、医療系まで幅広い分野にわたる6学部13学科からなる京都橘大学の教育研究実績を丁寧に広報し、大学全体のブランド力向上を図ります。
- ・「京都橘大学の医療系人材育成の質の高さ」を広報し、医療系学科の充実した総合大学の特徴をアピールします。
- ・2018年度入試の状況を分析し、高大接続改革へ対応した将来的な入試制度設計を検討します。

### (7) キャンパス整備の推進

- ・生命医科学分野での学際的な研究拠点となる「生命健康科学研究所」（仮称）建設を計画します。
- ・バスロータリーの移設に伴い、キャンパス外構整備を計画します。

## 2. 京都橘中学校・高等学校

### (1) 文武両道の学校づくりと社会に貢献する人材の育成

- ・生徒たちが学業およびクラブ活動に励み、それらを計画的に進められるようTM手帳やClassiを活用した学習指導・進路指導を行い、進学実績の向上とクラブ活動の活性化とを図ります。
- ・特別進学(E)コースの進学実績の向上を図るとともに募集力を強化します。そのためにグローバル化時代に対応した教育プログラムを強化します。
- ・学校カウンセラーの配置、学校医等による定期検診、インフルエンザ予防ワクチン接種の校内実施などにより、生徒の心身両面での安心安全を図り、満足度の高い学校生活を実現します。
- ・生徒指導部を中心に生徒の規範意識向上に向けた指導を推進し、落ち着いた校風を安定して発展させます。また、地域からの生徒指導要望への的確な対応、生徒憲章の浸透、安心安全な学校づくりなどを進めます。

- ・授業実践研究セミナーや進路指導セミナーへの参加、課外活動に係る各種の講習などへの参加を図り、教員の教育力の向上を図ります。
- ・授業アンケートの実施と分析、校長による授業見学、外部教育機関実施の各種教育研究セミナーへの参加、学校主催の教育研究集会の開催など、教員の授業力とチーム力の向上を図ります。

## (2) 進学実績で生徒募集域でのトップ50に入る高校の実現

- ・進学アカデミーへの参加を組織的に促し、進学実績目標を達成します。
- ・年3回以上の学力テストにおいて3年間にわたり学力目標をデータ化し、そのデータを基に学力向上に向けた取り組みを進めます。
- ・進路指導部の主導により系統的体系的な特別講座を編成し、学力向上に取り組みます。
- ・SL(Self Learning)やTM(Time Management)の取り組みを継続し、自学自習力を育成します。
- ・教務部・進路指導部を中心として関係部署が協力し、進路目標実現に向けた取り組みの具体化を図ります。
- ・京都橘大学への内部進学者数を安定して増やす取り組みを進めます。

## (3) 日本一を目指すクラブの育成等

- ・全国大会に出場する機会の多い5つのクラブについて、日本一になるための支援策を検討します。
- ・新たにE S Sやサイエンス系統のクラブなどの開設の検討を進めます。併せて、既存クラブのさらなる活性化を進めます。

## (4) 募集力の強化と安定的な経営基盤の構築

- ・学校説明会や「ドリーム☆スクール」などの志望者を学校に呼び寄せる企画や地域還元事業により、本校の認知度向上を図ります。
- ・塾訪問活動の強化、外部での本校主催学校説明会の開催、学校案内、ホームページ、新聞広告などの有効活用を図ります。
- ・学力の高い志願者獲得のための中高の特別奨学生制度、中学校の自己推薦型のプレミアム入試・適性検査型入試、高等学校の後期入試を継続します。
- ・進学実績を高めるとともに特別奨学金を適切に運用し、国公立進学(S)コースへの志願者を増加させます。
- ・総合進学(A)コース生徒の学力を向上させ、一般入試受験者数を増加させます。
- ・留学制度の充実、医療・看護分野との教学連携等を行い、特別進学(E)コースの生徒募集力の向上を図ります。
- ・塾や関連機関からの情報を的確に分析し、生徒募集情勢の分析とその対応策を検討します。

## (5) 伏見桃山の地で安定した学校づくり

- ・現キャンパスの長寿命化および魅力化計画を策定し、実行します。
- ・生徒数1,200名への規模拡大、コース改革に対応できる施設の整備を進めます。

# 3. たちばな大路こども園

## (1) 安定した教育・保育の提供

- ・「自立・共生」の教育・保育理念をもとに質の高い教育・保育の提供をめざします。
- ・園庭の天然芝など緑あふれる丘をコンセプトにした園舎を整備し、園児が自然に触れ、生き生きと過ごせる教育・保育環境を整えます。
- ・日々のコミュニケーションを通じて、保護者との連携を強化し、家庭と園が一体となった体制の構築をめざします。

## (2) こども園職員の資質能力の向上

- ・園内研修を定期的開催し、こども園職員の資質能力の向上をめざします。
- ・こども園職員を外部研修に参加させて、さらなる資質能力の向上をめざします。

## (3) 子育て支援事業の実施

- ・地域に根差したこども園をめざし、子育て支援事業として、園庭開放や未就園児の親子体験教室、在園児以外の一時預かり保育事業を実施します。

# 4. 京都橘学園

## (1) 学園のブランド力の強化

- ・「第1次マスタープラン」の成果と近年の教育を取り巻く外部環境の変化を併せ考え、新たに「第2次マスタープラン（2019-2026）」の策定を計画します。

## (2) 社会に貢献する新規事業への挑戦

- ・滋賀県草津市に「たちばな大路こども園」を開園し、学園の強みを活かし、新たに保育・幼児教育事業を展開します。

## (3) 教育研究、経営を支える職員育成（SD）の推進

- ・学園規模の拡大および大学の学部学科増設ならびに職員の果たすべき役割に応じた職員育成を図ります。

## (4) 京都橘高等学校と京都橘大学との教学面での連携強化

- ・学園の総合的な発展のために中学、高等学校、大学間の教学連携を強化し、高校から大学への内部進学を質量共に充実させます。

以上